

知っているようで知らない、 防災加工の話。 防災製品と防災物品って？ 違いは何でしょう。

OS NEWS

編集・発行：株式会社オーエス マーケティング課

2018年7月25日発行

お客様へのお役立ち情報、
トピック等をお知らせする
情報誌をお届けいたします。OSnewsのバックナ
ンバーはオーエス Web サイトでご覧いただけます。

NO.16



防災物品



防災製品

防災シールは二種類あります。

上図の左が「**防災物品シール**」右が「**防災製品シール**」です。どちらも 公益財団法人日本防災協会が認定し発行します。私たちの生活を取り巻く様々な繊維製品は、大変燃えやすく火災の原因になることから安全な環境づくりの一助として「**防災**」という概念が生まれました。「**防災物品**」とは、1969年消防法に規定された「**防災規制**」の中で防災性能の基準を設け、条件を満たしたものに付けられるものを表します。

不特定多数の人が出入りするところで使用される、カーテン・絨毯等は「**防災物品**」の使用が義務付けられ、その本体に「**防災**」の表示をしなければなりません。

「**防災物品**」を使用しなければならないところ

オーエスの製品（スクリーン）は、不特定多数の方が使用されるケースがほとんどです。

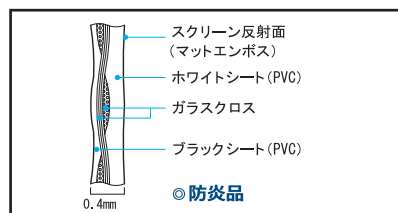
消防法第8条より

不特定多数の方が人の出入りできる所とは、例えば、・高さ31mを超える高層建築物・地下街・学校・病院・工場・事業所・興業所・劇場・映画館・公会堂・キャバレー・カフェ・遊技場・カラオケボックス・料理店・飲食店・診療所・百貨店・マーケット・旅館・ホテル・老人ホーム・救護施設・乳児院・障害児入所施設・デイサービスセンター・老人福祉センター・更生施設・保健所・児童施設・映画スタジオ等があります。



左は、オーエスのスクリーンの裏面に貼ってある「**防災シール**」です。

つまり、スクリーンは「**防災物品**」という事になりますが、「**防災物品**」とは上記建物・施設で使用されるカーテン・暗幕・緞帳・布製ブラインド・絨毯・展示用合板・舞台幕・大道具・工事用シート等と同じ位置づけになっています。



オーエスの総合カタログの「スクリーン生地の種類」には、生地の特性と共に断面図横に「◎**防災品**」の記載が必ずしてあります。

業務用としてご提供するスクリーンは、簡易設置タイプを除き、全て防災加工していますので、安心してお使いいただけます。

それでは「**防災製品**」とは何でしょう。

「**防災製品**」は上記消防法で定められた、「**防災物品**」以外の繊維製品について、防災協会が独自の製品認定制度により認定しているものです。寝具・衣類・布張り家具・災害備蓄用毛布・テント類・車両カバー・作業服・広告幕・パーティション・木製ブラインド・祭壇・マット類・障子・襖など多数があります。

ご注意： 防災は不燃ではありません。容易に燃え上がらず、万一着火しても際限なく燃え広がらないことを意味しています。適切な管理のもと、安全にお使いください。

オーエスが世界に誇る 4K 対応スクリーンが業務用でもご利用いただけます。

オーエスの「ピュアマットシリーズ」は、プロジェクターの高精細化と共に歩んできました。フル HD (1920×1080p) 解像度が一般的になり、さらに 4K (3840×2160p) 画質が登場する今、視聴覚教育や企業ミュージアム、医療現場などでも大きな画面のニーズが高まっています。

※ピュアマットは、オーエスの登録商標です。

WFプロ (生地型式 WF801) 誕生

4K 対応

防 災

脱塩ビ

医学系・デザイン系・コンピュータグラフィクス系等

映像を重視する分野に！高精細映像を忠実に再現する 4K対応スクリーン。

環境に配慮した“脱塩ビ”と“防災”を両立させた業務用スクリーン「WFプロ」誕生！



WFとは、ホワイトマットファブリックの略。オーエスでは「ピュアマット」の愛称で、2000年の誕生以来、ホームシアターで画像の素晴らしさで絶大な評価を得て、以来7世代にわたりプロジェクターの進化に合わせ、改良を重ねてきました。WF801は防災加工を施すことで公共施設への導入を可能にしました。

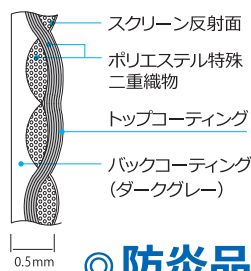
WF801

■3° ゲイン 0.97±10% ■ハーフゲイン角 60° 以上

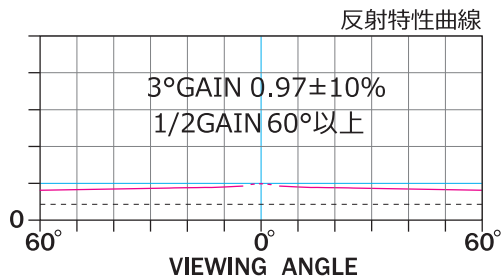


WFプロ顕微鏡写真 (Φ1.2mm)

WF801は、織物(ファブリック)のスクリーン。このランダムな織目が、モアレを防ぎ映像の安定したユニフォーミティを生み出します。



◎ 防災品



WFプロ (WF801)は
電動SEP、手動SMP、
張込PAに採用され、
製品化いたします。

特定の人が使用する前提のホームシアター用ピュアマットシリーズは、防災加工品ではありませんが、最高の映像を実現することをテーマに開発したスクリーンで、安心してご使用いただけます。

株式会社オーエスは二〇一四年に創立六十周年を迎え、今新しい歴史を刻もうとしています。代表 奥村正之が歩みを振り返ります。「けんこんいつてき」で何が語られるか、お楽しみにください。

周りから冷たい目で見られながら、さまざまな問題をひとりで抱えてどうすれば良いのか、自身が一人で問題を抱えているのかのような錯覚に陥っている、いつの間にか人間不信、疑心暗鬼に陥り、周りが全く信用できない状況に追い詰められていきましました。

そんな中、ある事件が起こりました。

ある日、(先代) 社長が支援している会社から資金援助の要請がありました。

その会社が手形貸し付けという形で金融機関から融資をうける。その際の債務保証のために手形の裏書に連帯保証をするという内容でした。

当時、内容を良く理解できず、一時的な話であり、返済してしまえば、連帯保証も解消するだろうというくらい簡単に考えておりました。

しかしながら、この後も次の融資の話で同様の事態が発生し、先方の会社と突っ込んで話をする必要が生じてきたのです。

そこで当時まだ入社もない財務担当者とも何と理解が出来ていない私が、先方に向き話を聞くことになりました。

このとき(先代)社長は先方の社長からの申し入れもあり、会社吸収を前提とした話になりました。

このような状況のもと先方に乗り込み、まずは聞き取りをする予定でしたが、先方の社長は病気で不在、経理担当はその奥様であり事態に対して要領を得ていないようでした。

また、専務という肩書きを持つ番頭さんもおられました。が、お話を聞くうちに雇用形態が今で言う契約社員がアルバイトのようで会社の運営には深く関わっておられず、営業現場での権限以外もなく、また知らされていなかったようです。

そもそもの資金がショートしたのか、いろいろと聞きとりしていくと、あるベテラン社員が大型物件で見積もりの試算を誤って受注してしまい、その差損が五千万円以上発生してしまった、とのことでした。

この問題で一気に資金がショートして当社に債務保証の依頼があったことがわかりました。

その後、財務状況を確認させていただき、本当にいくら資金が必要なのかを調べていくうちに大変なことが判明したのです。

この会社は、関係取引先と数億円ほどの融通手形を切つて粉飾していたのです。

乾坤一擲

016

代表
奥村 正之

記載内容に関するお問い合わせは、弊社担当者あるいはコンタクトセンターまでお願いいたします。